

授業科目名	インターンシップⅠ、Ⅱ、Ⅲ	単位数	2
担当教員名	渋谷 聡・高木 由起子・秋澤一輝	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係 本授業は、「学位授与の方針」のうち、AからFの項目すべてに該当する。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) インターンシップを通して、共生について考えることができる。  (2) インターンシップ活動を通して、労働意欲を高めることができる(特に、インターンシップⅠ)。  (3) 自己の職業適性や将来設計について考えることができる(特に、インターンシップⅡ)。  (4) 課題探求能力・問題解決能力を高めることができる(特に、インターンシップⅢ)。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>インターンシップは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と幅広くとらえ、人材育成の1つの形態として位置づけられている。  本学では、「仕事の中にこそ課題探求能力・問題解決能力の育成が秘められている」という考えのもと、インターンシップを推奨している。  本授業では、インターンシップを通して共生について考えるとともに、学生が将来のキャリアに関連した企業などで就業体験を行うことにより、キャリアに必要な力をつけることを目的としている。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：インターンシップとは  第2回：インターンシップの意義  第3回：インターンシップとボランティア  第4回：インターンシップと共生  第5回：インターンシップのあり方(1)：大学および大学生  第6回：インターンシップのあり方(2)：企業  第7回：インターンシップの留意点(1)：大学側  第8回：インターンシップの留意点(2)：企業側  第9回：インターンシップ先の選定  第10回：インターンシップの申請  第11回：インターンシップの活動について  第12回：インターンシップの記録  第13回：インターンシップの振り返り  第14回：インターンシップと今後の活動  第15回：まとめ</p> <p>定期試験</p>			
<p>教科書</p> <p>特に指定しない</p>			
<p>参考文献</p> <p>文部科学省・厚生労働省・経済産業省『インターンシップの推進に当たっての基本的考え方』  <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2015/12/15/1365292_01.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2015/12/15/1365292_01.pdf</a></p>			

学生に対する評価

活動報告書をもって総合的に評価する。